

主任教授のご挨拶



当科のホームページをご覧頂き、誠に有難うございます。私は 2014 年に日本医科大学皮膚科の主任教授に着任致しました佐伯秀久です。

日本医科大学の皮膚科は 100 年以上の歴史がある教室です。第 8 代教授の丸山千里先生は丸山ワクチンを開発された高名な先生で、高潔な人格から皆の尊敬を集め、本学の学長も務められました。私は 12 代目に相当します。

本教室は歴代の教授が活躍され、真菌症、接触皮膚炎、血管炎などで中心的な病院となってきました。他にも皮膚外科手術、皮膚病理、美容皮膚科、アトピー性皮膚炎、乾癬などで皮膚科をリードしていく医局員が多数在籍しており、幅広く、そしてバランス良く、皮膚科診療を習得できる教室であると自負しております。

大学院生は現在 9 名在籍しています。自分の興味の対象に応じて指導教官を任命し、最適な研究環境の提供に努めております。今後は大学院への進学を極めて強く推奨致します。入局 5～7 年後に、学位と専門医の両方を取得できるよう指導致します。

日本医科大学は千駄木にある付属病院以外に、武蔵小杉、千葉北総、多摩永山にも分院があり、皮膚科はこれらの 4 病院を原則ローテートして頂きます。それぞれの病院の特長を生かして、豊富な臨床経験を積むことができます。

また、子育てをしながら研修している女医さんも多数在籍しており、仕事と家庭を上手く両立させながら研修を続けています。そのような先生のサポートを積極的にしながら、かつ他の医局員と不公平にならないよう人事面での調整をしています。

日本医科大学皮膚科学教室は皆様の期待に十分応えられる研修施設であると確信しています。興味のある先生は、お気軽に医局（医局長：市山 進 susumu-ichiyama@nms.ac.jp）にご連絡下さい。お待ちしております。

2021 年 11 月 25 日

日本医科大学皮膚科主任教授

佐伯 秀久